

平成30年度(2018年度)教育予算編成に向けての基本姿勢  
(案)

教育予算の編成に当たっては、先に区長が定めた平成30年度中野区予算編成方針を踏まえ、教育委員会として自らの権限と責任において、主体的に行っていく必要がある。

平成30年度においては、「中野区基本構想及び新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」、「中野区教育大綱」及び「中野区教育ビジョン(第3次)」を踏まえ、新たな教育課題に的確に対応し、教育内容の充実を図るとともに、事業の見直し・改善等により、財源を確保し、必要な施策に重点的に取り組んでいかなければならない。

よって、平成30年度教育予算の編成に当たっては、下記事項を重点として真に必要な施策を厳選して展開していくこととする。

記

【基本方針】

- 1 保・幼・小・中連携教育を推進し、学びの連続性を踏まえた主体的・対話的で深い学びを展開することにより、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を育む。
- 2 家庭、学校、地域の連携により、社会全体で子どもの安全を守り、健全に育成する取組を推進する。
- 3 学校再編に基づく統合新校の整備や学校施設の計画的な整備・維持補修を進め、子どもたちが安全で快適に学ぶことができる環境整備を推進する。
- 4 区民の学びと自立を支え、地域文化を創造・発信・継承する取組を推進する。

【平成30年度に取り組む重点的な項目】

- 1 各学校におけるICT環境の整備を着実に推進し、双方向型の学習や協働学習を展開することで、子どもたちの主体的に学ぶ態度の育成や情報活用能力、コミュニケーション能力の向上を図る。
- 2 (仮称)総合子どもセンターの設置に向けた検討を進め、教育相談、適応指導、就学相談、発達相談、虐待相談、若者支援など、課題のある子どもから若者を切れ目なく総合的に支援できる体制を構築する。
- 3 子どもたちの成長過程に応じた自然体験や社会体験活動などを充実し、豊かな心や自ら考え行動する力などの生きる力の基盤を育成する。
- 4 新区立図書館・地域開放型学校図書館の開設、及び区立図書館システムリプレイスや学校図書館へのシステム導入に向けた取組などを推進し、地域の文化、情報の拠点として区民の課題解決支援を推進するとともに、子どもたちの豊かな心、教養、創造力の向上を図る。